

情報提供日：令和7年8月8日

戦時下の暮らしや龍ヶ崎での悲劇を伝える資料110点を歴史民俗資料館で展示 戦後80年企画展「資料が語る戦争の記憶」を開催中

龍ヶ崎市教育委員会では、戦後80年企画展「資料が語る戦争の記憶」を令和7年9月7日(日)まで、龍ヶ崎市歴史民俗資料館で開催中です。

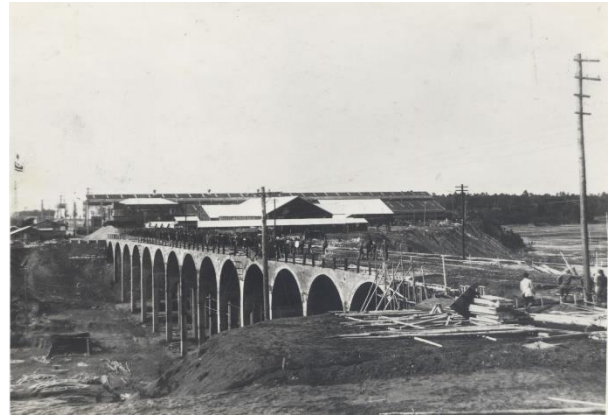
今回の企画展では、戦時下の暮らしや、龍ヶ崎で起きた悲劇を伝える資料110点を展示しています。

太平洋戦争が終結してから今年で80年を迎えます。今を生きる私たちにとって、日本で起きた戦争はもう遠い過去の出来事になりつつあります。

戦時下を生きた世代も少なくなり、私たちの周りからは、戦争を伝える事柄や記憶が消えていこうとしています。しかし、戦争は忘れてはならない歴史であり、平和な社会への教訓としていかなければなりません。

苦しく厳しかった過去を知り、二度とこのような歴史を繰り返さぬよう、平和の尊さを考える機会となるようお願い、本企画展の開催に至りました。

報道機関の皆さまには、展示の告知及び取材を賜りますよう、お願い申し上げます。



【展示している写真の1枚】
軍需工場羽田精機に建設中のめがね橋

主な展示資料

- ・第八期予科練出身の爆撃機搭乗員遺品
- ・駒柴村警防団防空勤務簿
- ・軍需工場羽田精機の回想録、手描きの鳥瞰図
- ・羽田精機を空襲した米軍戦闘機の薬莢(やっきょう)
- ・駒柴第一国民学校(現・駒柴小)の米戦闘機空襲について
- ・入営の幟旗、武運長久の寄せ書き日章旗
- ・陸軍特攻隊 振武隊(しんぶたい)の軍服
- ・戦時下の生活を伝える女性雑誌、子ども絵本 など



■期 間	令和7年8月1日(金)から9月7日(日)まで
■場 所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 企画展示室 (所在地:龍ヶ崎市駒馬町2488番地)
■開館時間	午前9時から午後5時まで
■休館日	毎週月曜日。ただし、8月11日(月)は開館、翌12日(火)が休館。
■入館料	無料

担当課

龍ヶ崎市歴史民俗資料館
(龍ヶ崎市教育委員会 文化・生涯学習課 文化学習推進グループ)
担当者: 飯野(いいの)・油原(ゆはら) 連絡先: 0297-64-6227(直通)